

「進め世代交代」

令和の10代は「アルファ世代」と呼ぶらしい。

「Zの次はα」だそうで、いつも思うのは、〇〇世代という呼び方はいったいどちらのお偉い様が決めておられるのだろうか？という事です。呼び名の根拠は何なのでしょう？日本の未来を背負う若者に対して、まるでコロナの変異株を連想させるような、上から目線の失礼な呼び方だと思います。

私は今では消組役員の中でも最年長グループになっておりますが、社会に出たばかりの昭和後期には「新人類」と呼ばれていました。経済成長の恩恵を受けて育った「何を考えているのか分からない世代」と思われていたようです。次世代を担う若者は、いつの世もそういう扱いだったのです。「今どきの若い者はなっとらん！」と、平安時代の文献にもそのような主旨の記述があるそうです。

今やどこの業界でも「若い世代が育っていない」と言われています。私たちの防災業界でもそれは紛れもない事実です。私を含むベテラン世代に敢えて問いたいのには「本気で次世代を育てる気はあるのか？」「育てる努力はしているのか？」という事です。

「いちいち言わんでも分かるやろう！」とか「一を聞いて十を知れ！」とか「技術は盗め！」とか、私たちが先人たちから叩き込まれた教育手法は必ずしも正しいやり方ではなかった。技術を分かりやすい言葉で体系立てて説明するのは、やってみると意外と難しい。論理よりも精神論を優先する教え方は、少なくとも即戦力を育てるには効率的ではなかったのだろうとも思っています。もちろんチャホヤと優しく接するのが良いとは思っていません。高所やら受電室やら、作業ミスが命の危険を伴う現場もあるので、時には語気を強めることもあれば、声を荒げることも必要です。

第一線を退いた老兵が若者に伝えるべきこと、教えるべきことは、盛り盛りの精神論的武勇伝だけではないはずです。来たる少子化時代の防災業界はどうあるべきなのか？

今は老いも若きも共に知恵を絞るべき時なのだろうと思います。

大阪消防設備協同組合
副理事長 山口 忍



役職員写真（7/23役員会にて撮影）

通常総会・懇親会

令和8年5月21日（木）、大阪キャッスルホテル（大阪市中心部）にて第65回通常総会を開催しました。鈴木副理事長の開会宣言後、昨年度に加入された新入会員紹介が行われました。4社の新たな仲間を温かい拍手で迎え、総勢219社となった組合の発展を喜び合いました。

そして、吉永理事長が議長に就任し、各議案が審議されすべて原案どおり可決承認されました。



吉永理事長



大阪市消防局長
山本博文様



懇親会の様子

総会終了後には懇親会を開催し、ご来賓・賛助会員の皆様にもご臨席いただき、盛大に開催することができました。

日頃なかなか顔を合わせる機会の少ない組合員同士が親睦を深めるとともに、業界の現状や今後の展望について活発な情報交換が行われました。また、ご来賓の皆様とも交流を深める貴重な機会となり、終始笑顔の絶えない和やかな雰囲気の中で閉会しました。参加者一人ひとりが横のつながりを再確認し、今後のさらなる発展に向けて意欲を新たにす有意義な懇親会となりました。

第20回記念OSG会



優勝

堂本将司さん
(テクノメンテナンス㈱)



第21回OSG会



優勝

白川智広さん
(㈱タケシナ防災)



ゴルフコンペ開催！

令和8年3月25日（水）、泉ヶ丘カントリークラブ（堺市南区豊田）において、第20回OSG会記念ゴルフコンペを開催しました。当日は37名が参加、あいにくの天候ではありましたが、20回目を迎えた記念大会を盛大に開催することができました。

また令和8年7月2日（木）には、花吉野カントリー倶楽部（奈良県吉野郡大淀町）において、第21回OSG会ゴルフコンペを開催。この大会からHD C P制を導入し、32名がしのぎを削り合いました。

多くの組合員、賛助会員の皆様にご参加を頂き、お陰様で怪我人など無く盛況裡に開催できましたことに心より感謝申し上げます。

今後も創意工夫を重ね、より良い大会作りに励んでまいりますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

大会実行委員長 富永 豊（和泉防災㈱）

令和7年度研修会

令和8年3月18日（水）、堺市消防局講堂において、大阪消防設備協同組合・一般社団法人関西防災機器協会合同研修会を開催し、27社41名が参加しました。研修では、「消防用設備等の点検時における二酸化炭素消火設備の誤放出事故について」他をテーマに、事故の発生要因や再発防止策、安全管理の重要性について理解を深めました。参加者は事故防止への意識を新たにし、今後の点検業務に生かす有意義な研修となりました。



青年部 リレーマラソン参加！



令和8年2月1日（日）、ヤンマーフィールド長居で開催された「大阪フル・リレーマラソンフェスティバル2026」に、青年部有志が昨年に続いて参加しました。1周3.3kmのコースをメンバーで交代しながら襷をつなぎ、3時間28分54秒で完走しました。さらに、昨年の記録から10分以上タイムを縮める好成績となり、日頃の練習の成果と、チームワークの向上がうかがえる結果となりました。

今後も色々な活動を計画して参りますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

青年部長 福島政則（㈱オーケー防災）

組合員通信（令和8年1月～7月）

【新入会員】

会社名：ラグーン防災 《第5支部所属》
代表者：代表 上川 僚太
所在地：大阪市鶴見区徳庵1-2-48

会社名：㈱本田工業 《賛助会員》
代表者：代表取締役 阿字 大作
所在地：奈良県生駒市北田原1067-28

【代表者変更】

：新代表者

キンパイ商事㈱ ：代表取締役 佐野 博幸
モリタ宮田工業㈱ ：代表取締役 磯貝 理

【事務所移転】

：新住所

鈴木消防㈱ ：堺市美原区多治井164-9
※電話 072-368-5757
※3支部→8支部へ移動

日生防災設備㈱ ：大阪市天王寺区味原本町5-8
※電話 変更なし
※3支部→4支部へ移動

残暑
お見舞い
申し上げます。





「若い力でより魅力的な消防設備業界に」

組合員の皆様、日頃より青年部活動への温かいご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

私たち青年部は、2ヶ月に一度の定例会を通じて、次世代の業界を担う仲間との絆を深めています。その活動は多岐にわたり、8月の「若手経営者の集い」や11月のボウリング大会といった親睦行事をはじめ、消防設備士サミットへの参加、実務に直結する勉強会の立案や業界動向の情報共有など、互いを高め合いながら熱意を持って取り組んでおります。活気あふれる日々様子は、ぜひ紙面下部の写真にてご覧ください。

現在、私たちの業界は「深刻な人手不足」という大きな課題に直面しています。この困難を乗り越え、すべての組合員の皆様が円滑に事業を運営できる環境をつくること。それこそが、私たち青年部が果たすべき最大の使命であると考えています。

若い力と柔軟なアイデアを結集させ、消防設備業界の未来をより魅力的なものへと変革してまいります。今後とも、青年部への変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

大阪消防設備協同組合
青年部長 福島 政則



大阪消防設備協同組合 青年部